

村山地域の森林

森林がある市町村	森林面積	森林の割合
7市7町	17万3,000 ha	66%

村山地域の森林の特徴として、山形市を中心に県の中核的都市地域として機能していることから人口が多く、里山には「まき」などとして使っていたナラ類などの天然林が多く残り、スギの人工林はやや少なくなっています。また、都市部に近い森林が多いことから、森林公園やキャンプ場なども多く存在し、気軽に森林に親しむことができます。奥山では、東側の蔵王連峰の麓にブナ林や樹氷で有名なオオシラビシの林、水源林として植えられたカラマツの林があります。西側の月山・朝日連峰の麓にはブナ林が広がっています。

西川町のブナ林と水

西川町は、磐梯朝日国立公園の朝日連峰や月山に囲まれ、町の90%が森林です。雪がとも多く、4月にオープンする月山スキー場では、ブナの新緑を見ながら、青空の下で夏スキーを楽しむことができます。周囲の森林からは、山菜やきのこがたくさん採れるため、山菜料理や山菜そばのお店があります。

西川町では、ボトル詰めめ月山のわき水を町の特産品として販売しています。地ビールなど、わき水を使った他の飲料も製造しています。

また、町を流れる寒河江川には、寒河江ダムという大きなダムがあります。ここから村山地域の6市6町に水道用水を供給しています。



残雪と新緑のブナ林



月山の夏スキー

県立自然博物館

西川町志津に、月山の中腹に広がるブナの原生林と生き物たちの姿を観察学習できる県立自然博物館があります。ブナ林の中のネイチャートレイル（遊歩道）を歩いていくと、さまざまな動物植物と出会えるかもしれません。



ネイチャーターにある展示コーナー



冬のブナ林の中のトレッキング



ミスバショウとエゾノリュウキンカ



ブナ林の中での森林観察



羽化するコエゾゼミ

県民の森（山形市・山辺町・南陽市・白鷹町）

「県民の森」は、森林に親しみながら自然環境について学んだり、レクリエーション活動を行う場としてつくられました。「森林学習展示館」では、動物のはく製や森林の活動を楽しく学べるパネルやジオラマ、木育コーナーがあります。広大な芝生広場が3か所あり、のびのびと遊ぶことができます。中央広場では、さまざまな木製遊具やアスレチックが楽しめるほか、周辺の大小の沼をまわる自然散策コースやキャンプ場もあります。また森の工房「む・う・ぶ」では自然の素材をいかした木工クラフトを楽しむことができます。



中央広場での森林教室



生き物の観察



木工クラフト